



コード（分野）	24702（1. 防災・安全）
メニュー名	防災スタンプラリー（防災セミナー）
校園名（学年）	甲賀市立小原小学校 全児童（32名）とその保護者
講師・支援者等	三井住友海上火災保険株式会社 7名
学 習 名	親子でめざそう 防災マスター
教 科 等	行事（親子参観日）
実 施 日	令和8年7月10日（金） 10:20～11:30

《授業の流れ》

〔多目的ホール、中庭〕

1 三井住友海上火災保険株式会社を知っている？

突然の危険に対する損害保険に対応している



2 プレゼンテーション

- ① 滋賀県の地形と地震
- ② 南海トラフと小原地区への影響度

3 スタンプラリー

- ① 川あそびのピンチ（1, 2年メインテーマ） ・ カミナリ音が聞こえた時
 - ② 留守番のピンチ（3, 4年メインテーマ） ・ 大きな地震が起きた時
 - ③ 避難のピンチ（5, 6年メインテーマ） ・ 家に愛犬がいる場合
 - ④ 火事のピンチ（全員のメインテーマ） ・ 家の辺りで火事が起きている時
- ・ 自分の選択（2択）をグループのメンバーや保護者と話し合って決める。
選んだ理由が言える。
スタンプをもらい次のブースへ回り、すべて完了したらマスタースタンプをもらって修了



4 まとめと感想

- 1 災害時の緊急通信方法… 5 ゼロジャパン（00000JAPAN）
- 2 防災ラリーの振り返り

5 災害時とEV車の活用

- 1 EV車の災害時のメリット…電気が補える（湯沸かし、電気）
- 2 EV車試乗体験



<感想等>

児 童



- ・避難所に行くときに、自分たち人間のことばかり考えていたけれどペットのことも考える必要があるということを初めて知りました。
- ・グループでスタンプラリーをしたので楽しかったです。難しい問題もあったけれど、違う学年や大きい学年の人が一緒に考えてくれたから良かったです。もっと問題をしたかったです。
- ・学校では避難訓練があるけれど、「家で一人お留守番をしているときに地震があったら」と思うと「怖いな」と思いました。そんな時はどうしたらいいか、家族とまた話し合おうと思いました。
- ・お母さんと友だちと一緒にスタンプラリーできた。コーナーにいる三井住友海上のお兄さんやお姉さんが優しく分かりやすく防災について教えてくださって、とても楽しかったし勉強になりました。また来てほしいです。ありがとうございました。
- ・トヨタのEV車にコンセントをさしたら、ドライバーが使える！電気ケトルでお湯を沸かしたりできてびっくりしました。車の中にも乗せてもらってうれしかったです。

保護者

- ・大変興味深い内容の親子学習会を開催していただきありがとうございました。スタンプラリーの各コーナーでの質問は、何通りもの考え方ができ、その中でどれが一番適切な答えなのか、大人でもなかなか判断が難しかったです。でも、いろいろなことを考える良い学びとなりました。
- ・子どもたちと防災について話すことがあまりなかったので、この学習で改めて話す機会になって良かったです。防災に対する子どもたちの考え方なども聞けて、避難場所や防災グッズなどについて、家庭でもう一度しっかりと話し合わないといけないなと思いました。また、災害時に電源として使える車もしっかりと見るのは初めてでしたが、ケトルやドライバーなどがちゃんと使えていて、すごいなと思いました。
- ・大人でも判断に悩むシチュエーションで、子どもたちが自分なりに考えて答えを出していて、よい学びになったと思いました。コーナーをまわりながら、うちの子は“避難所のイメージはまだ持てていないな”とか“不安になったら、この子は動くんだな”ということに気づけたので、家族で「こんなときどうする？」を話し合いたいと思いました。ありがとうございました。

学 校(担任の先生等)

- ・今年度、親子で防災について考える機会をもちたいと考え、「しが学校支援センター」を通じ三井住友海上火災保険株式会社様にご依頼させていただいた。「防災セミナー」として、スタンプラリー形式の体験を中心とした学習は、子どもたちが楽しい中にも様々なピンチの場面での対応の仕方をじっくりと考え、グループで話し合っている姿がとても印象的だった。どのようなことが起こっても、まずは自分でしっかりと考えて行動することが大切だということが子どもたちの心にしっかりと残ったようで、本研修を実施した成果と感じた。
- ・親子で防災について考え話し合う研修を実施したことにより、子どもたちは各家庭に持ち帰って家族で「地震の場合は…」「土砂災害の時は…」「停電になったら…」と、いろんな場合を想定して考えたり話したりしたことを次の日に話していた。本研修をきっかけに学びが広がり、深まったこと大変うれしく思った。
- ・災害が多い日本、また異常気象が増えている近年に、大変有意義な学びの時間となった。三井住友海上火災保険株式会社様及び滋賀トヨタ様、また生涯学習課しが学校支援センター様には多大なるご協力をいただきありがとうございました。

講 師 ・ 取材者

<講師>

- ・滋賀県という比較的災害が少ない地域で暮らす子どもたちに、防災・減災を自分ごととして捉えてもらうきっかけとなるよう、授業を実施させていただきました。

ご担当の先生方の多大なるご協力もあり、スタンプラリー形式で楽しみながらも様々なリスクについて主体的に考え、自分なりの答えを導き出すことで、防災・減災への理解をより深めてもらうことができたと思います。

また、当日は滋賀トヨタさまにもご協力いただき、実際に子どもたちの目の前でE V車が災害時にどのように役立つか実演していただきました。

ぜひ今回の授業が、ご家庭でも防災・減災について話し合うきっかけとなりましたら幸いです。

<取材者>

- ・今回一つの災害に絞って考えるのではなく、様々な生活のリスクや災害のリスクをスタンプラリー形式で学べる楽しい防災学習であった。
- ・1年生から6年生までが一緒に学ぶことで、対策が共有され今後に生きる。さらには、保護者も一緒に考えることで家庭ではなかなかできない話し合いがゆったりできたことも成果であった。
- ・それぞれのブースでは、どうするかを自分で選び、どうしてそう考えるのかを子どもたちが言葉にすることでさらに思考が深まっていた。そして、一つずつスタンプでマスターして、最終的に防災マスターに就任という楽しくしかし確実にピンチに備える心構えを学べる流れとなっていた。
- ・総勢7名ものスタッフに来ていただき、手厚い支援が可能となった。さらには、今回甲賀市の株式会社滋賀トヨタとも連携され、最新のE V車を活用した防災イメージも身についたと思う。
- ・災害時の確実な通信手段として、5ゼロジャパンという方法を初めて知った。

